

平成27年度予算の概要

平成27年2月
門真市



<目次>

平成27年度予算編成について	1
1. 平成27年度予算の総括	2
2. 一般会計歳入予算の状況	7
3. 一般会計歳出予算の状況	12
4. 市債残高の状況	17
5. 基金残高の状況	18

平成27年度予算編成について

市長就任以来、「財政の再建」と「市政の再生」のため、柔軟性と機動性に富んだ経営感覚を取り入れ、途絶えることなく行財政改革を推進し、職員数及び人件費の大幅削減をはじめとする「内なる改革」を中心に、事務事業の統合・合理化など、様々な行財政改革を推進し、約300億円を超える効果を生み出すことができたところであり、この効果を数多くの新たな施策に、持続可能な自律発展都市に繋がる投資事業に投資してまいりました。経常収支比率につきましても、25年度決算においては前年度より2.1ポイント改善、また、財政健全化法における連結実質赤字比率も解消しております。

しかしながら、本市の財政は依然として厳しい歳入状況にあります。経常収支比率が100を下回り、連結実質赤字比率が解消されているものの、国民健康保険事業特別会計の累積赤字は約26億円となっており、少子高齢化による生産年齢人口の減少や老朽化した公共施設の更新・修繕に伴う財源確保の課題等、将来への投資財源の確保を維持し、持続可能なまちづくりを実施するためには、引き続き、行財政改革並びに財政健全化への取組みを強力に推進していかなければならない状況であります。

このような財政状況のもと、27年度予算においては、「門真市第5次総合計画」に示す将来都市像「人・まち“元気”体感都市 門真」の実現に向けて、三本柱である「教育の向上」「まちづくり」「産業振興」に加え、「子ども」「女性」「コンパクトシティ」をキーワード施策とし、限られた財源の中で、「あれもこれも」から「あれかこれか」という選択と集中による重点的な予算配分を行いました。

これから急激な人口減少時代を迎えますが、この事象を「まちの活気がなくなり、展望がなくなる」と捉えるのか、「過密からゆとりへの絶好のチャンス」と捉えるのかで、随分と考え方や対策は変わってきます。「面積の狭いまちなので発展はない」と考えるのか、「面積が狭いからこそ、効率的で持続可能なまちづくりができる」とともに、市民の暮らしや顔が良く見え、公民協働の基盤がある」と考えるのかで、施策は大きく変わります。

私は、訪れる時代のどのような出来事も、前向きに捉え、発展の可能性を見出し、その根源的な方向性を輝らすことで、市民の皆様の「幸福度の向上」を図り、未来を担う子どもが、「住みたい」「住み続けたい」と本市に誇りを持てるまちを作り上げるため、今後とも私はもとより、職員も一丸となって積極的に取り組んでまいり所存でありますので、市民の皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

門真市長 園部 一成

1. 平成27年度予算の総括

単位：千円

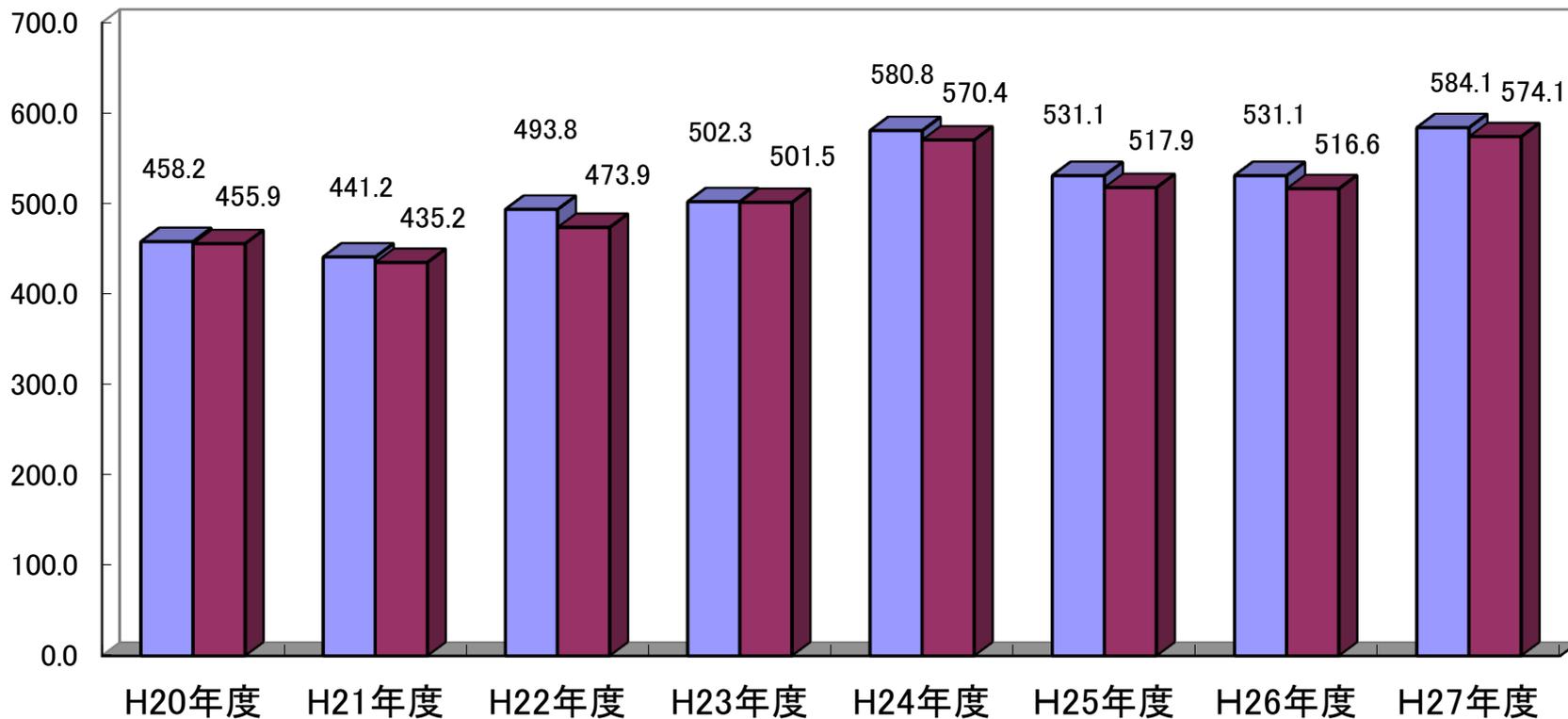
項 目	平成27年度 予算額 (A)	平成26年度 予算額 (B)	増 減 額 (C) = (A) - (B)	増 減 率 (C) / (B) %	
一 一般会計	58,410,000	53,110,000	5,300,000	10.0	
※借換債を除く	57,412,149	51,661,676	5,750,473	11.1	
特別 会 計	国民健康保険事業	21,177,066	18,326,432	2,850,634	15.6
	公共下水道事業	8,593,050	6,883,751	1,709,299	24.8
	都市開発資金	783	783	0	0.0
	公共用地先行取得事業	497,023	722,384	△225,361	△31.2
	後期高齢者医療事業	1,397,506	1,389,100	8,406	0.6
	小 計	31,665,428	27,322,450	4,342,978	15.9
水道事業会計	4,460,704	4,075,895	384,809	9.4	
全会計の合計	94,536,132	84,508,345	10,027,787	11.9	
※借換債を除く	93,538,281	83,060,021	10,478,260	12.6	

※一般会計には、過去に発行した市債の借り換えに伴う予算として、平成27年度に997,851千円、平成26年度に1,448,324千円を歳入・歳出に計上しています。

一般会計当初予算額の推移

単位：億円

借換債含 借換債除



会計別予算の特徴

(1)一般会計

主な歳入（対前年度）

○市税 174億 145万6千円
 (△2.2% 3億8,700万8千円減)

○地方消費税交付金 24億円
 (+44.3% 7億3,700万円 増)

○国庫支出金 152億4,684万円
 (+5.2% 7億4,692万4千円増)

○府支出金 45億9,158万5千円
 (+24.2% 8億9,372万6千円増)

○市債 77億4,315万1千円
 (+41.2% 22億5,927万7千円増)

主な歳出（対前年度）

○保育定員拡充事業 6億6,075万3千円
 (皆 増 6億6,075万3千円増)

○住宅市街地総合整備事業 27億4,613万4千円
 (+28.0% 5億9,993万9千円増)

○（仮称）市立総合体育館建設事業 11億3,974万円
 (+1029.2% 10億3,881万2千円増)

(2)国民健康保険事業特別会計

主な歳入（対前年度）

○国民健康保険料 35億3,504万3千円
 (△5.0% 1億8,760万円 減)

○国庫支出金 47億5,135万4千円
 (+1.3% 6,081万5千円増)

○療養給付費等交付金 5億3,673万3千円
 (△26.0% 1億8,831万1千円減)

○前期高齢者交付金 43億7,855万7千円
 (+4.9% 2億 522万1千円増)

○府支出金 14億6,251万5千円
 (+1.6% 2,267万9千円増)

主な歳出（対前年度）

○後期高齢者支援金等 22億 301万円
 (△2.9% 6,652万2千円減)

○介護納付金 8億5,193万2千円
 (△8.8% 8,263万3千円減)

○共同事業拠出金 50億 653万6千円
 (+148.7% 29億9,380万4千円増)

(3)公共下水道事業特別会計

主な歳入（対前年度）

○国庫支出金 10億6,500万円
(+56.2% 3億8,300万円 増)

○繰入金 21億3,153万7千円
(+1.2% 2,553万7千円増)

○市債 40億2,332万7千円
(+47.3% 12億9,108万6千円増)

主な歳出（対前年度）

○公共下水道整備事業 28億4,228万4千円
(+59.3% 10億5,851万5千円増)

○公債費 36億1,319万9千円
(+10.8% 3億5,170万5千円増)

(4)都市開発資金特別会計

○予算総額 78万3千円
(対前年度同額)

(5)公共用地先行取得事業特別会計

○予算総額 4億9,702万3千円
(△31.2% 2億2,536万1千円減)

(6)後期高齢者医療事業特別会計

主な歳入

○後期高齢者医療保険料 9億9,832万1千円
(+4.0% 3,848万1千円増)

○繰入金 3億2,322万8千円
(△4.7% 1,597万9千円減)

主な歳出

○後期高齢者医療広域連合納付金 13億4,232万5千円
(+0.8% 1億578万円 増)

(7)水道事業会計

収益的・資本的收入

(総額35億 704万8千円 対前年度 +1.5%)

○水道料金 26億7,121万9千円
(△ 0.6% 1,733万8千円減)

○工事負担金 2億6,774万4千円
(+18.7% 4,216万2千円増)

収益的・資本の支出

(総額44億6,070万4千円 対前年度 +9.4%)

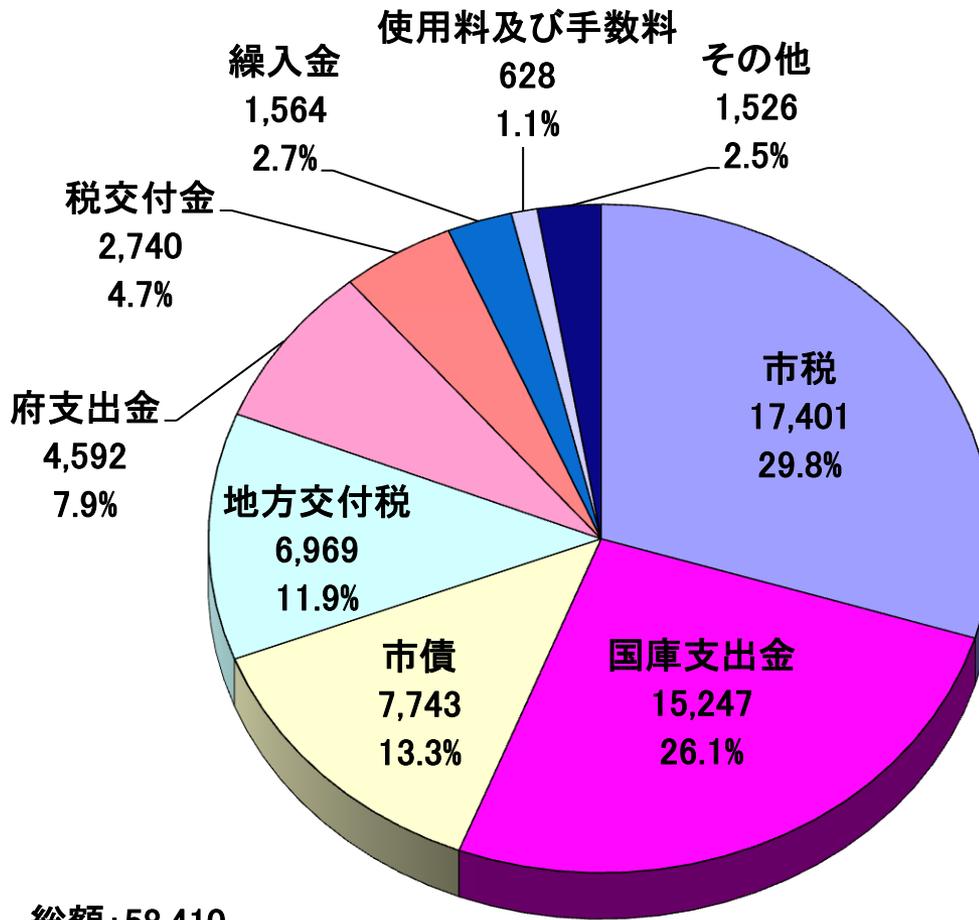
○(総係費)退職給付金 2,411万6千円
(皆 増 2,411万6千円増)

○(排水設備改良費)工事請負費 10億 658万6千円
(+62.3% 3億8,647万3千円増)

2. 一般会計歳入予算の状況

歳入予算構成比

単位：百万円

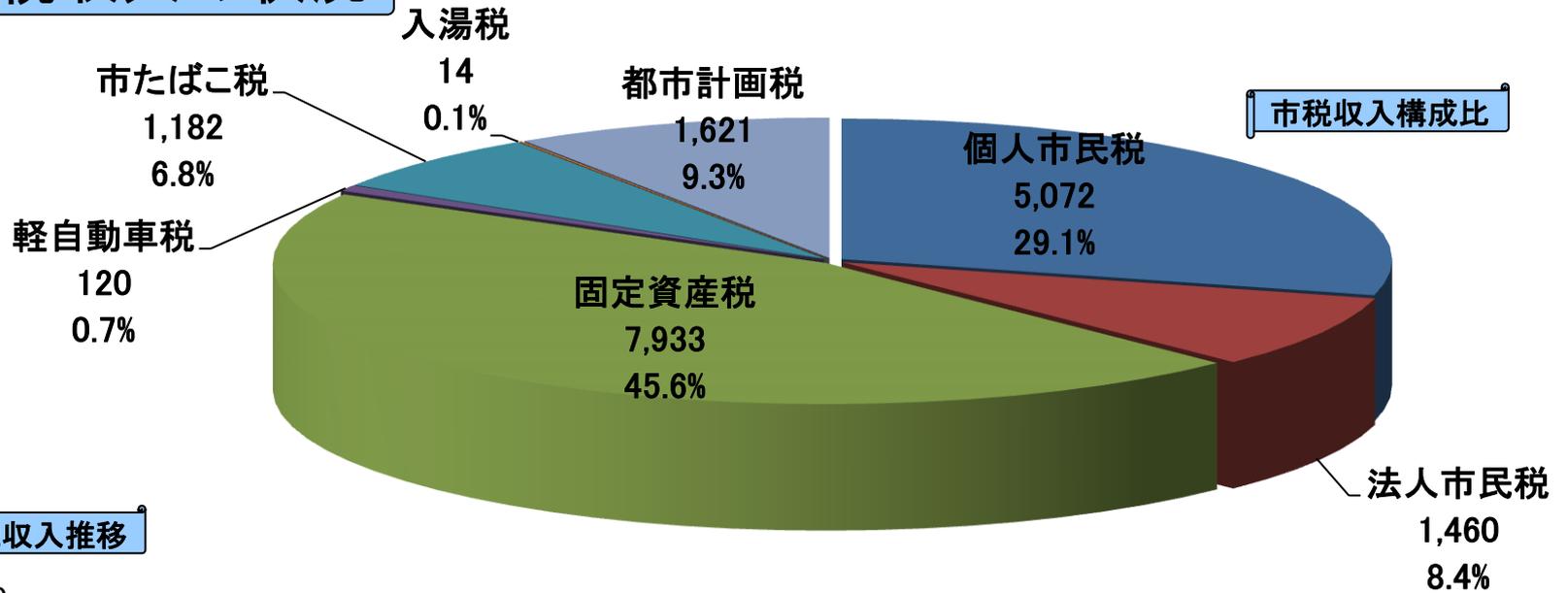


※1 税交付金の内訳
 利子割交付金
 配当割交付金
 株式等譲渡所得割交付金
 地方消費税交付金
 自動車取得税交付金

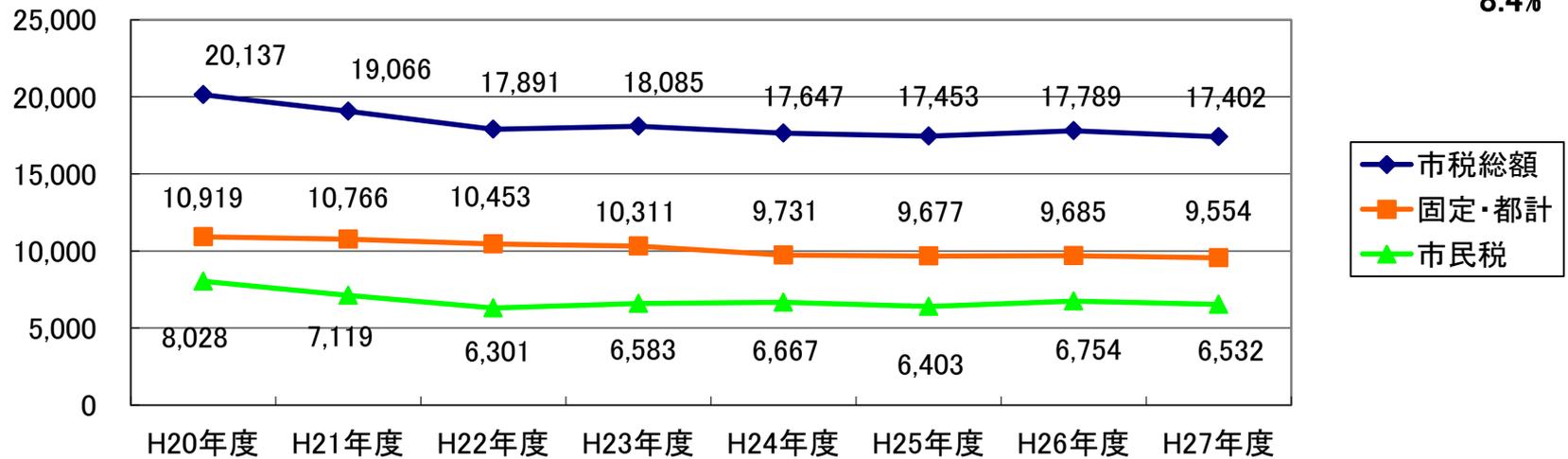
※2 その他の内訳
 地方譲与税
 地方特例交付金
 交通安全対策特別交付金
 分担金及び負担金
 財産収入
 寄附金
 諸収入

市税収入の状況

単位：百万円



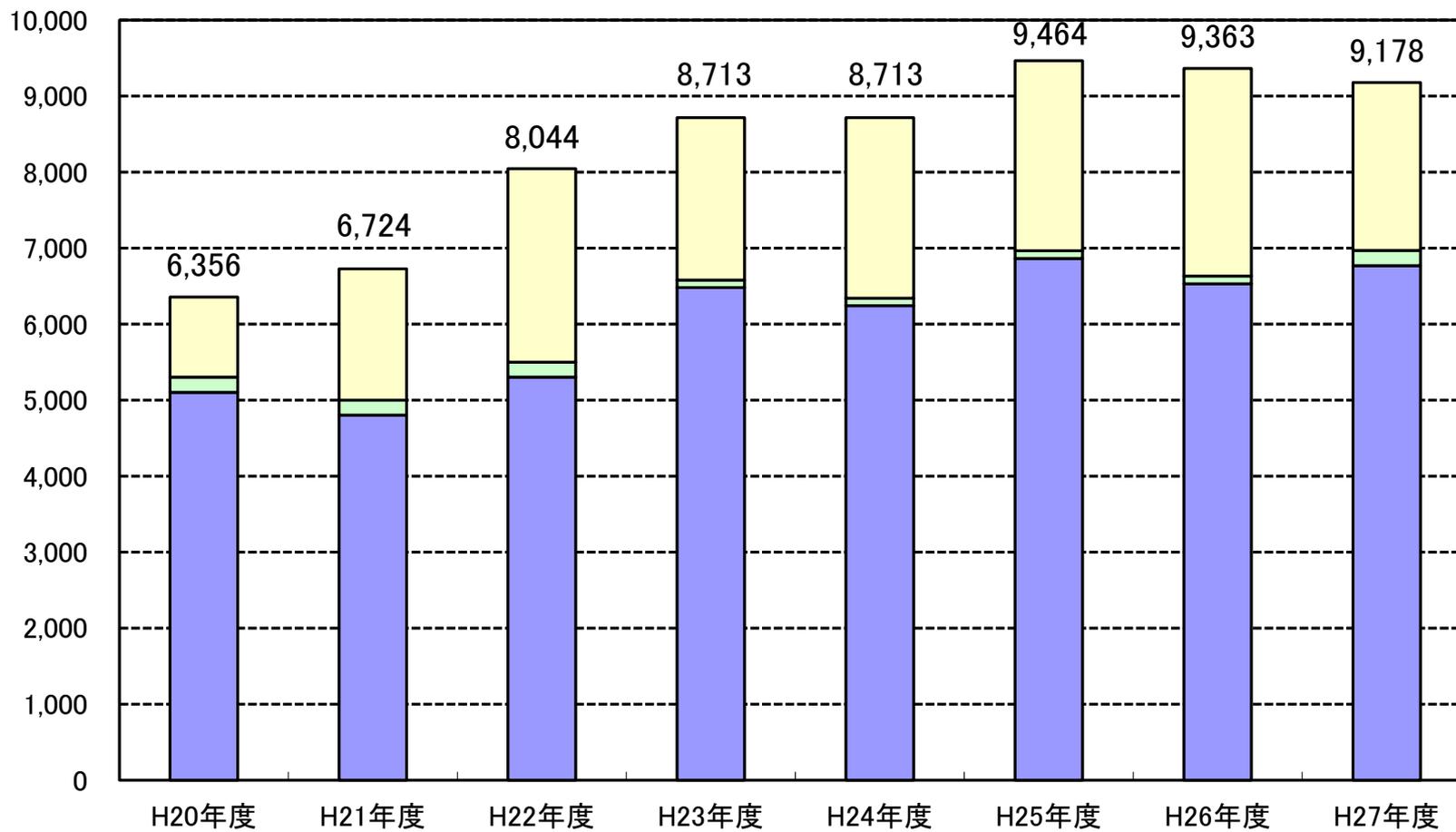
市税収入推移



地方交付税等の推移

単位：百万円

■ 普通交付税 ■ 特別交付税 ■ 臨時財政対策債



歳入予算の特徴

(1)市税

174億145万6千円
(対前年度△2.2% 3億8,700万8千円減)

2014年7～9月期の実質国内総生産（2次速報値）は前年度比で年率換算1.9%減となり、2四半期連続のマイナス成長となった。消費増税後の個人消費の低迷が長引いているため、景気の低迷が続いており、そのほか設備投資は、増加傾向にあるものの弱い動きもあり、また企業収益は全体として足踏みがみられます。

先行きについては、このような当面の弱さはみられるものの、景気は雇用・所得環境の改善、各種政策の効果により緩やかに回復していくことが期待されています。

このような状況のもと、税収入については、所得課税である個人市民税は、生産労働人口の減少による納税義務者数の減少に伴い減収、法人市民税についても税率引下げにより大きく減収となります。また、資産課税である固定資産税は家屋の評価替えと地価下落により減収となります。

単位：千円

項目	H27年度	H26年度	増減額	増減率 %
個人市民税	5,072,234	5,150,868	△78,634	△1.5
法人市民税	1,459,588	1,602,782	△143,194	△8.9
固定資産税	7,933,302	8,051,354	△118,052	△1.5

(2)地方交付税＋臨時財政対策債

91億7,800万円
(対前年度△2.0% 1億8,535万円 減)

- 地方交付税
69億6,900万円 (3億3,900万円 増)
- 臨時財政対策債
22億 900万円 (5億2,435万円 減)

地方交付税のうち、普通交付税については、国の地方財政計画及び平成26年度交付実績等に基づいて算定しています。特別交付税については、平成26年度交付実績に基づいて前年度より1億円増で見込んでいます。

また、臨時財政対策債についても国の地方財政計画及び平成26年度実績等に基づき予算計上をしています。

(3)国庫支出金

152億4,684万円
(対前年度＋5.2% 7億4,692万4千円増)

- 社会資本整備総合交付金 6億8,753万6千円増
- 学校施設環境改善交付金 2億5,542万4千円増
- 子ども・子育て支援交付金 4,780万5千円増
- 臨時福祉・子育て世帯臨時特例給付金給付事業費補助金 3億6,960万円 減

(4)府支出金

45億9,158万5千円
(対前年度＋24.2% 8億9,372万6千円増)

- 安心子ども基金特別対策事業費補助金
5億8,703万6千円増
- 中学校給食導入促進事業費補助金
2億1,000万円 増
- 施設型給付負担金 1億2,692万9千円増
- 緊急雇用創出事業臨時特例基金
1億1,457万7千円減

(5)諸収入

5億7,684万4千円

(対前年度△8.2% 5,123万7千円減)

○中町地区老朽建築物等買収補償費

3,354万3千円減

○水道事業会計退職手当負担金

1,872万1千円減

(6)市債

77億4,315万1千円

(対前年度+41.2% 22億5,927万7千円増)

○学校教育施設等整備事業債 20億5,400万円 増

○住宅市街地総合整備事業債 6億1,500万円 増

○一般廃棄物処理施設整備事業債

3億3,320万円 増

○社会福祉施設整備事業債 1億7,810万円 増

○臨時財政対策債 5億2,435万円 減

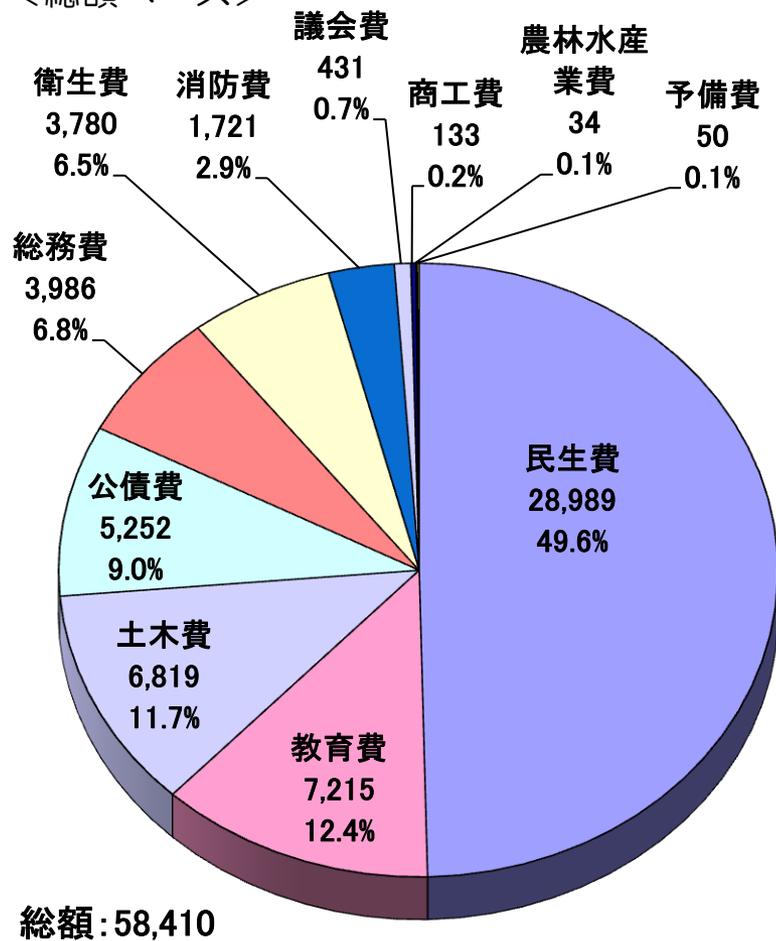
○借換債 4億5,047万3千円減

3. 一般会計歳出予算の状況

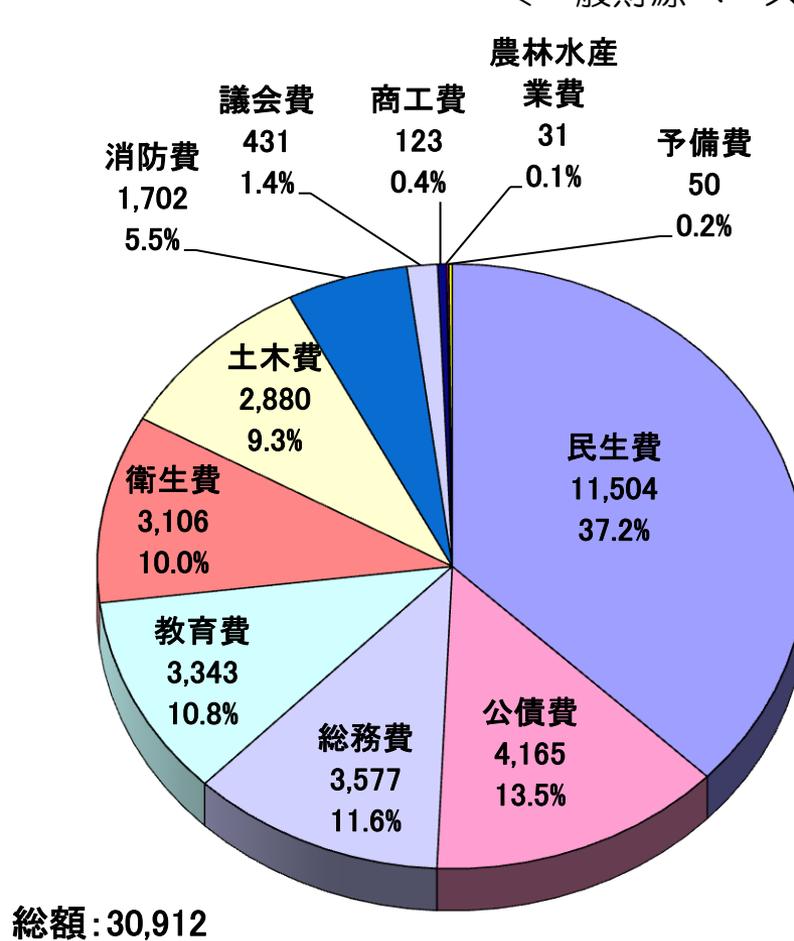
歳出予算(款別)構成比

単位：百万円

<総額ベース>



<一般財源ベース>



歳出予算(款別)の特徴

(1)総務費

39億8,640万7千円
 (対前年度△8.6% 3億7,490万8千円減)
 ○公共用地先行取得事業特別会計繰出金
 2億2,536万1千円減
 ○旧養護老人ホーム撤去工事 9,223万2千円減
 ○市民文化会館外壁改修工事 4,835万2千円減
 ○(仮称)門真市女性サポートセンター設置事業
 2,255万5千円増

(2)民生費

289億8,862万5千円
 (対前年度+4.0% 11億877万8千円増)
 ○保育定員拡充事業 6億6,075万3千円増
 ○公立認定こども園整備事業(仮称)門真市立南
 こども園整備事業) 3億9,679万2千円増
 ○障がい者等支援給付費 3億6,383万3千円増
 ○くすのき広域連合負担金 2億4,558万8千円増
 ○臨時福祉・子育て世帯臨時特例給付金給付事業
 3億6,960万円 減
 ○生活保護法の規定による扶助費
 2億8,556万7千円減

(4)衛生費

37億8,039万円
 (対前年度+14.1% 4億6,771万1千円増)
 ○クリーンセンター施設棟運転維持管理事業等更新
 工事 2億4,001万9千円増
 ○リサイクル施設運転維持管理事業更新工事
 7,399万3千円増
 ○一般ごみ等収集業務委託料 3,317万5千円増

(4)土木費

68億1,874万8千円
 (対前年度+16.5% 9億6,731万9千円増)
 ○住宅市街地総合整備事業 5億9,993万9千円増
 ○新橋市営住宅2期耐震改修工事
 1億4,485万8千円増
 ○市営住宅建設基金積立金 1億4,089万8千円増
 ○門真第9水路親水空間整備工事
 5,000万円 増

(5)教育費

72億1,543万2千円
 (対前年度+98.9% 35億8,774万円 増)
 ○(仮称)市立総合体育館建設事業
 10億3,881万2千円増
 ○第五中学校校舎等大規模改造工事
 7億5,993万2千円増
 ○第三及び第四中学校給食棟建替工事
 7億4,833万1千円増
 ○沖小学校校舎等大規模改造工事
 7億3,691万9千円増
 ○市民プラザ外壁改修工事 9,514万8千円減

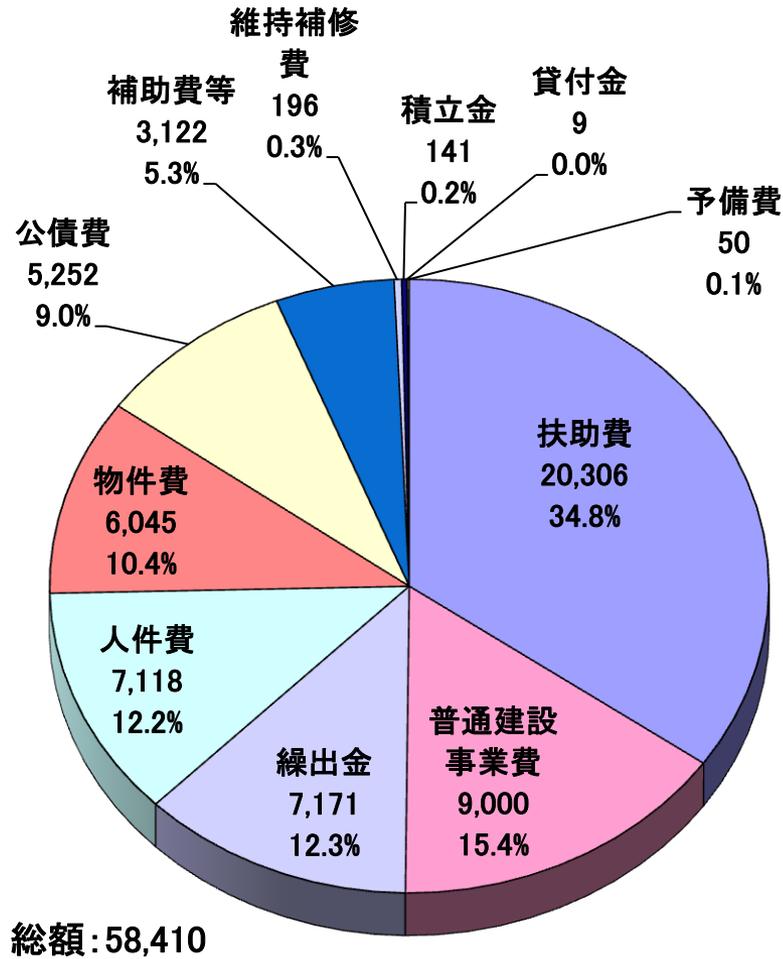
(6)公債費

52億5,219万5千円
 (対前年度△8.3% 4億7,529万円 減)
 ○臨時財政対策債(平成16年度借入分)等の借換分
 として 4億5,047万3千円減
 ○義務教育施設整備事業債(平成15年度借入分)
 2,612万5千円減

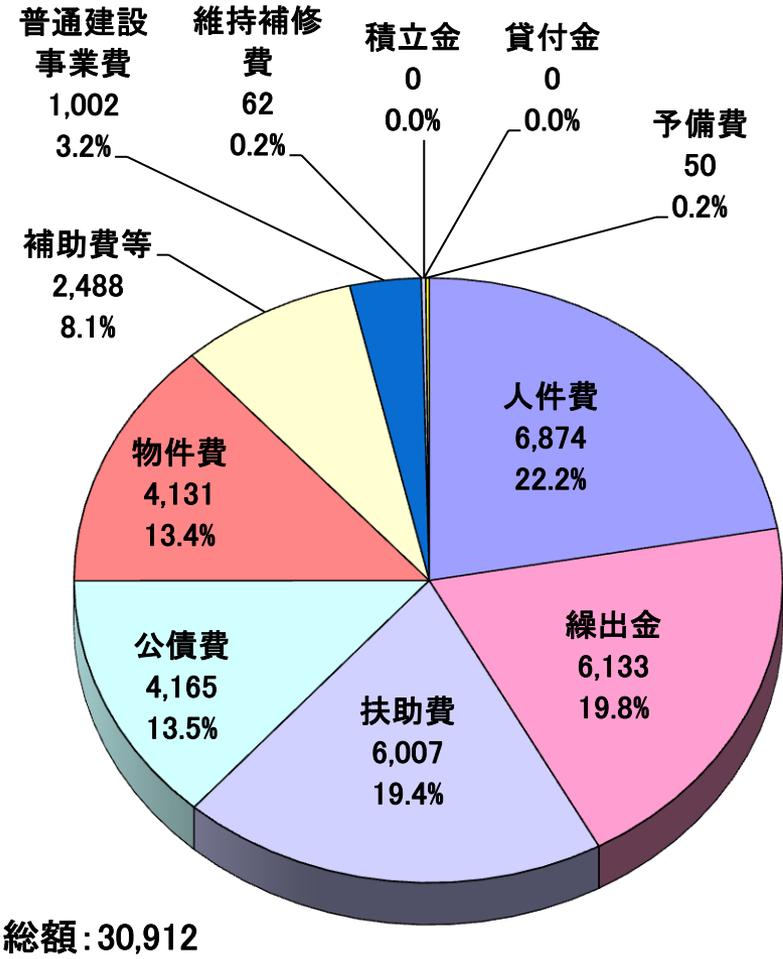
歳出予算(性質別)構成比

単位：百万円

<総額ベース>



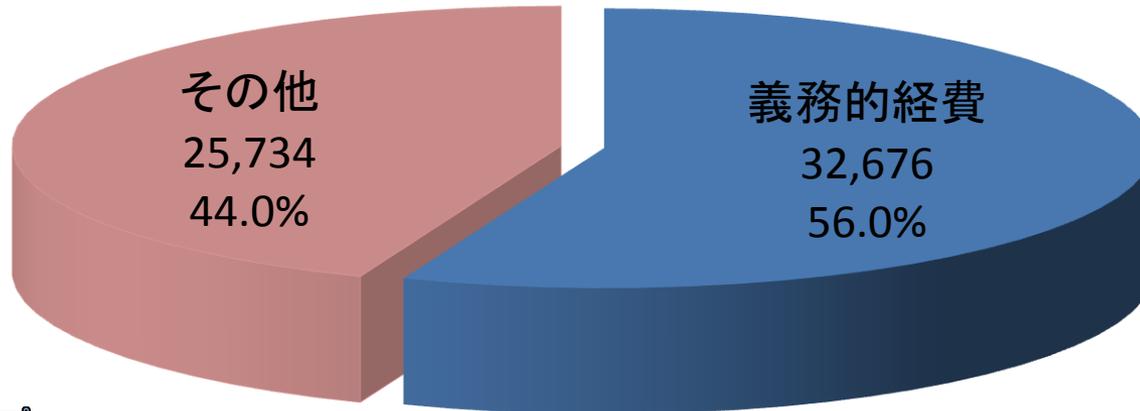
<一般財源ベース>



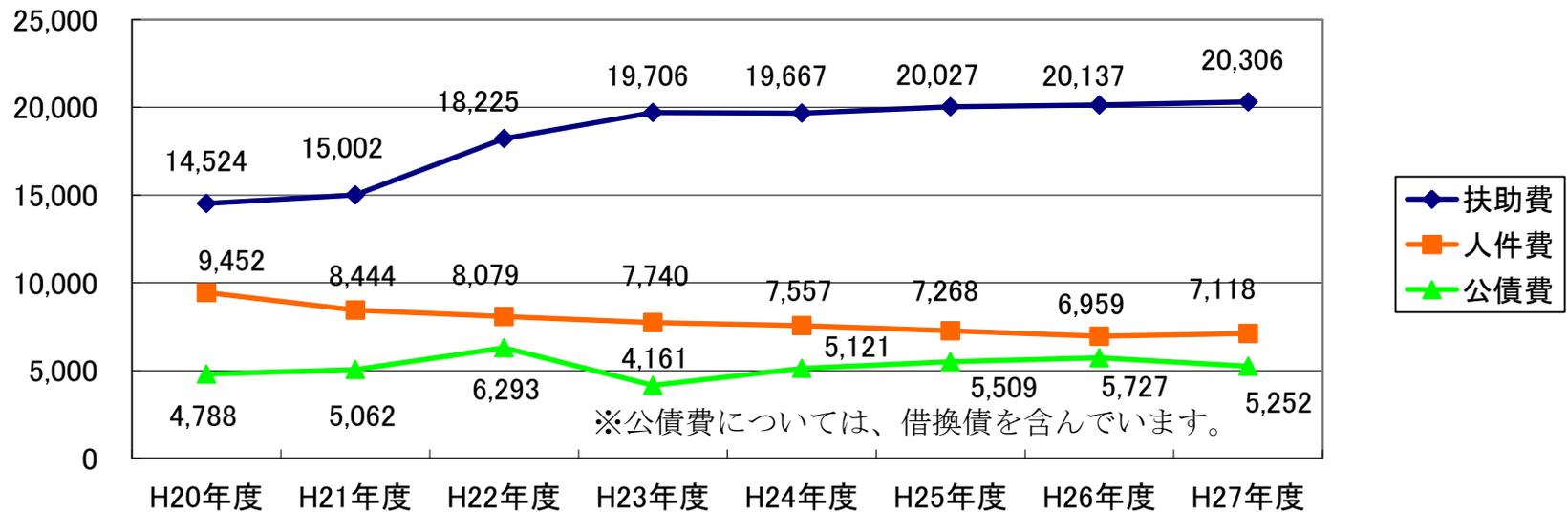
義務的経費の状況

単位：百万円

歳出総額に占める義務的経費の割合



義務的経費の推移



歳出予算(性質別)の特徴

(1)人件費

71億1,796万1千円
 (対前年度+2.3% 1億5,942万円3千円増)
 ○職員等の人件費に関する事務 9,629万4千円増
 ○統計書作成事業 4,099万2千円増

(2)物件費

60億4,481万6千円
 (対前年度+0.5% 2,709万6千円増)
 ○一般ごみ等収集業務委託料 3,317万5千円増
 ○水痘予防接種委託料 2,583万9千円増
 ○門真南駅周辺地区整備事業 2,518万5千円増
 ○成人用肺炎球菌予防接種委託料 2,261万8千円増
 ○立地適正化計画策定支援業務委託料 1,944万円 増
 ○住民情報システム等新規・修正委託料 9,452万8千円減

(3)扶助費

203億578万1千円
 (対前年度+0.8% 1億6,830万4千円増)
 ○施設型給付費 6億8,088万7千円増
 ○障がい者等支援給付費 3億6,383万3千円増
 ○保育所入所委託料 4億6,187万9千円減
 ○生活保護法の規定による扶助費 2億8,556万7千円減
 ○児童手当支給費 1億 690万5千円減

※生活保護費は、約75%が国庫支出金などの特定財源で、残りの約25%については交付税で措置されます。
 その他の扶助費についても、一定の割合で国庫支出金などが交付されます。

(4)補助費等

31億2,222万1千円
 (対前年度△11.4% 4億 332万4千円減)
 ○臨時福祉・子育て世帯臨時特例給付金給付事業
 (交付金) 3億5,665万円 減

(5)普通建設事業費

90億44万2千円
 (対前年度+156.1% 54億8,619万9千円増)
 ○(仮称)市立総合体育館建設事業 10億3,962万4千円増
 ○第五中学校校舎等大規模改造工事 7億5,993万2千円増
 ○第三及び第四中学校給食棟建替工事 7億4,833万1千円増
 ○沖小学校校舎等大規模改造工事 7億3,691万9千円増
 ○保育定員拡充事業 6億6,075万3千円増
 ○住宅市街地総合整備事業 5億9,636万3千円増
 ○(仮称)市立南認定こども園整備用地購入費 3億8,400万円 増

(6)公債費

52億5,219万5千円
 (対前年度△8.3% 4億7,529万円 減)
 ○臨時財政対策債(平成16年度借入分)等の借換分
 として 4億5,047万3千円減
 ○義務教育施設整備事業債(平成15年度借入分) 2,612万5千円減

4. 市債残高の状況

一般会計・公共用地先行取得事業特別会計

単位：百万円

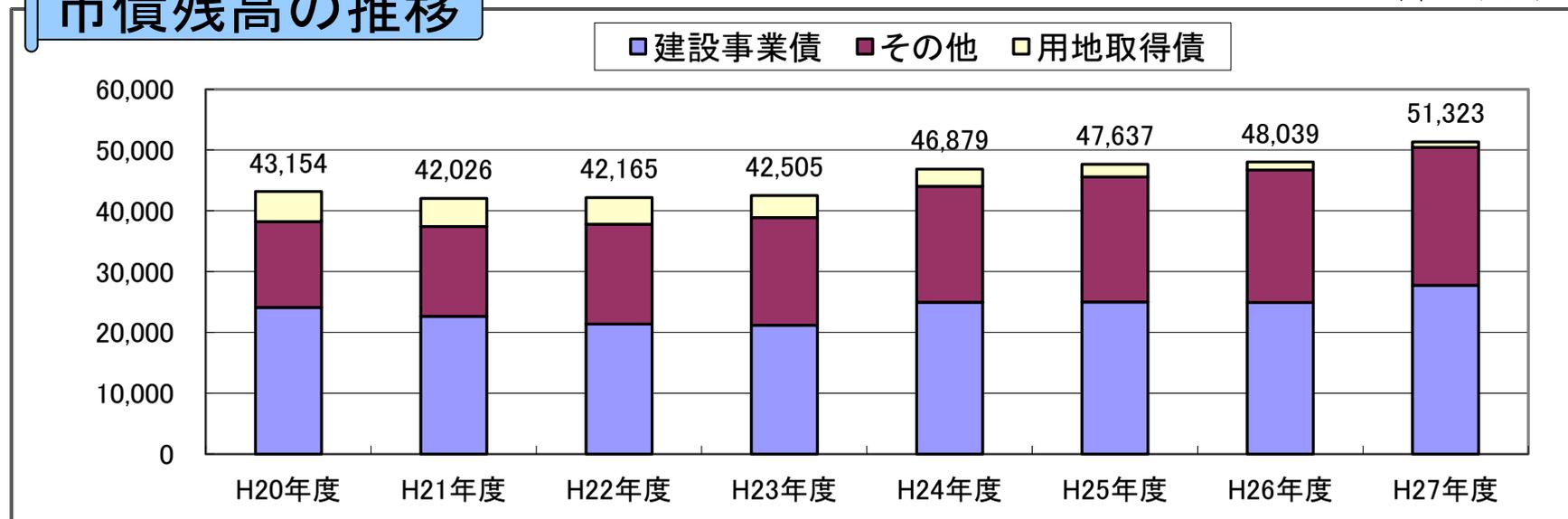
項目	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
建設事業債	24,117	22,637	21,388	21,153	24,973	24,990	24,889	27,719
その他	14,083	14,798	16,421	17,734	19,062	20,605	21,806	22,741
用地取得債	4,954	4,591	4,356	3,618	2,844	2,042	1,344	863
合計	43,154	42,026	42,165	42,505	46,879	47,637	48,039	51,323

※その他（国の政策によるもの）・・・減税補てん債、臨時税収補てん債、臨時財政対策債

※H20年度～H25年度は決算額、H26年度・H27年度は見込額

市債残高の推移

単位：百万円



5. 基金残高の状況

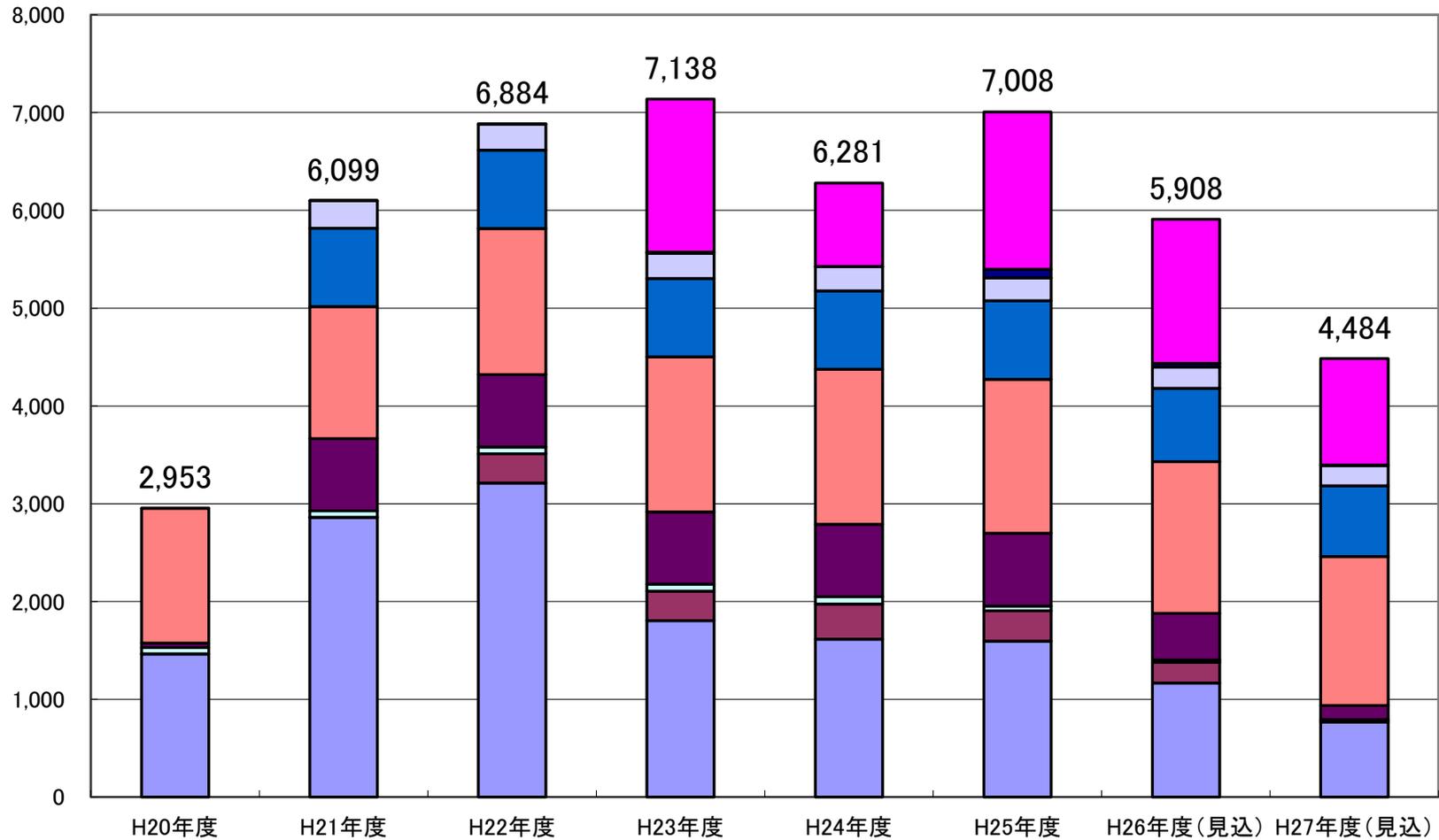
単位：千円

項目 (設置年月日)	H25年度末	H26年度 積立見込額	H26年度 取崩見込額	H26年度末 (見込)	H27年度 積立見込額	H27年度 取崩見込額	H27年度末 (見込)
財政調整基金 (S54.3.26)	1,593,825	132,951	560,000	1,166,776	—	400,000	766,776
減債基金 (H3.3.27)	310,869	—	100,000	210,869	—	200,000	10,869
職員退職手当基金 (H8.3.29)	56	—	—	56	—	—	56
福祉推進基金 (H15.3.31)	49,855	—	24,288	25,567	—	10,607	14,960
都市整備基金 (H15.3.31)	742,337	—	265,701	476,636	—	333,949	142,687
市営住宅建設基金 (S54.3.26)	1,575,407	—	26,622	1,548,785	140,898	167,564	1,522,119
文化芸術振興基金 (H21.3.31)	803,226	—	52,381	750,845	—	24,388	726,457
環境保全基金 (H21.3.31)	234,369	—	15,357	219,012	—	14,252	204,760
教育振興基金 (H21.3.31)	87,050	—	50,446	36,604	—	30,000	6,604
まちづくり整備基金 (H23.9.29)	1,611,144	14,752	153,400	1,472,496	—	383,448	1,089,048
合計	7,008,138	147,703	1,248,195	5,907,646	140,898	1,564,208	4,484,336

基金残高の推移

単位：百万円

■ 財政調整
 ■ 減債
 □ 職員退職
 □ 福祉推進
 ■ 都市整備
 □ 市営住宅
 ■ 文化芸術
 □ 環境保全
 ■ 教育振興
 ■ まちづくり



～ガラスケプロフィール～

名 前：元祖招き猫 ガラスケ
出身地：門真神社参道のとある駄菓子屋
性 格：「ニャーニャー」ではなく
 「ガラガラ」と鳴くひょうきん者
趣 味：接客
好 物：かつお節、れんこん、くわい
特 技：人を呼び込むこと
 幸福を呼び込むこと



平成27年度予算の概要

作成：総合政策部財政課

電話：06-6902-5869（直通）